

II. ハノイ大学への教員派遣事業

1. 派遣教員、奈良女子大学研修生

派遣教員	鈴木 広光	奈良女子大学大学院人文科学系言語文化学領域 教授
研修生	マイ・ティ・タン・ガー	奈良女子大学人間文化研究科博士後期課程

2. 派遣期間

5月20日（日）～5月26日（土）6日間

5月20日（日） 関西空港発 — ノイバイ国際空港 — ハノイ着

5月21日（月）

～24日（木） 午前 ハノイ市街視察 午後1時～4時半 講義 3コマ

5月25日（金） 午前 ハノイ市街視察 午後1時～4時半 講義 3コマ

午後5時半から8時半 大学院生による歓送会

（ハノイ市内のレストランにて）

深夜 ノイバイ国際空港発

5月26日（土） 早朝 関西空港着

3. 事業概要

日本語学講義 5月21日（月）～25日（金）計15コマ

修士課程大学院生 9名に対して講義を行なった。

講義概要 テーマ「日本語らしさ」の特徴を文法的に説明する

ハノイ大学大学院日本語コース（修士課程）が日本語教師養成を目的としており、すでに大学院生が日本語教師として働いていることを事前に情報として得ていたため、鈴木は日本語教育の専門家ではないが、この分野で問題になる「日本語らしい表現」に文法的説明の根拠を与えることを目的とする講義を行なった。教材は日本で市販されているテキストを送ることが不可能であったため、主に最新の成果をわかりやすく述べている、近藤安月子・姫野伴子『日本語文法の論点 43』（研究社、2012）を参考にして、鈴木が独自に作成したものをプリントとして配布した（**参考資料** 参照）。日本語の文法事象を分析して専門的に論じることよりも、日本語教育の場で根拠を示して説明することができるように配慮して、講義を行なった。そのため、成績評価もレポートではなく、各課に課題を設けて、その課題に対して考察し、説明する形式の小テストを行なうことにした。なお、『日本語文法の論点 43』は同大学に所蔵されていなかったため、帰国時に寄贈してきた。

参考資料

ハノイ大学 「日本語学」集中講義 担当 鈴木広光 (奈良女子大学) 2012.5.21-25

「日本語らしさ」の特徴を文法的に説明する

第1課 「私」

1. 「私は」の省略か？

- (1) はじめまして。私は鈴木です。どうぞよろしく。
- (2) はじめまして。鈴木です。どうぞよろしく。

課題1 (1)(2)を比較。「私は」の有無による違いは？→違いがあれば、単なる省略ではない。

課題2 (1)は、場面によっては日本語母語話者にとって不自然に感じる。それはなぜか？

2. 「は」の機能

- (3) むかしあるところにおじいさんとおばあさんがいました。おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。
- (4) Q:ここに置いてあったケーキを食ったのは誰だ？
「～は」=既知情報。 疑問詞「誰」=未知。
A:(食ったのは)オレだ。= *オレは食った。旧情報 /オレが食った。新情報
- (5) 太郎は中学生だが、次郎はまだ小学生だ。 モノの対比
- (6) 彼はその本を見はしたが、読みはしなかった。 コトの対比

課題3 (2)「鈴木です」を「省略」とする説明の根拠=情報伝達上、旧情報は重複した情報であり、(4)「(ここに)置いてあった)ケーキを)食ったのは)」のように任意の要素なので省略可能。また会話の場の構成要素である話し手は旧情報であるため、「私は」を省略できる。→この説明と根拠は妥当か？課題1と課題2をふまえて考えてみよう。

ヒント (1)の「私は鈴木です」が不自然に感じられない場面・文脈を考えてみる。

3. 話し手は自分自身を言語化＝対象化するか？

- (7) あ、誰もいない。 (8) あ、アタシ以外（のほか）に誰もいない。

気がつくと自分だけが取り残されている状況でのひとりごと。事実の描写としては(7)よりも(8)の方が正確であるにもかかわらず、日本語母語話者にとって(8)のほうが不自然。

- (9) ここはどこですか？ (10) 私はどこにいますか？ Where am I?

(10)は日本語母語話者にとって不自然。(9)は、話し手＝〈私〉が事態の中において自身の目の前の空間を「見えること」として認識する主観的把握による発話。

4. 形容詞の人称制限をめぐって

- (11) ?私は若い。 / ?あなたは若い。 / 彼は若い（あの人は若いね）。
(12) a. ?私は眠い。 / *あなたは眠い。 / *彼は眠い。
b. *私は眠い？ / ?あなたは眠い？ / *彼は眠い？
(13) 彼は眠いようだ。 / 眠いらしい。 / 眠そうだ。

属性（様態・形状を含む）形容詞 → 人称制限なし。

感情・感覚形容詞 → 人称制限あり。

5. 話し手のゼロ化

- (14) ああ、眠い（眠っ）。 痛い（イタッ!）。 熱い（アツッ!）。 辛い（カラッ!）
(15) 眠い（の）？ 痛い（の）？ 上昇調イントネーションによる疑問文では二人称代名詞は不要。 → (11)の「?あなたは若い」を含め、聞き手（あなた）に対しての問題は第2課で取り扱う。
(16) 頭が痛い（背中がかゆい）。 ?私は頭が痛い。 *私の頭が痛い。
(17) 水が飲みたい。 ?私は水が飲みたい。

課題4 「私は若い」はそのまま発話すると不自然であるが、ある場面・文脈では自然である。どのような場面・文脈では自然か？

課題5 「眠い」と「私は若い」を「若い」と話し手ゼロで表現できないのはなぜか？第1課で考察してきたこと総合して、その理由を考えてみよう。

第2課 「あなた」

1. 「あなた」は使いにくい

- (1) ?あなたは法律がご専門ですね。 (2) 鈴木さん／先生は法律がご専門ですね。

「現在では、年齢や立場が同等、あるいは下位にある人に対して使うことが一般的になっており、上位者に対して用いにくくなっている。」

「相手の名前を示さずに呼ぶことで、中立的な表現となる反面、やや冷たい響きが感じられる。」(文化庁審議会答申・敬語の指針：2007)

→「あなた」「きみ」といった二人称代名詞を使うことはほとんどない。「あなた」は夫婦・恋人間でおもに女性から男性に対して使われることがある。「きみ」はふつうの会話のなかにはほとんど登場しない。小説の会話文やドラマのせりふで使用されることがある程度。

名前や役職などを知らない相手には、「あなた」ではなく、下記の方法が推奨される。

- (3) 雨の中、よくいらっしゃいました。 → 聞き手の行動に対して敬語を使用する。
反例 雨の中、よく来たね(来てくれたね)。 → 敬語使用は必須ではない。
(4) 教えてくれてありがとう。 → 話し手の視点(=聞き手との関係)を明示する。

2. 聞き手のゼロ化

課題1 (5)~(7)について、「あなたは」の有無により文の意味は異なるか? 異なるとしたら、どう違っているか?

- (5) 立ってください。 / あなたは立ってください。
(6) 毎日、日本語を勉強しますか? / あなたは毎日、日本語を勉強しますか?
(7) お元気ですか? / あなたはお元気ですか?

- (8) φ／あなた／鈴木さん、ちゃんと掃除しなさい。(命令)
(9) φ／あなた／鈴木さん、こっちへ来てよ。(依頼)
(10) φ／あなた／鈴木さん、そろそろ出かけましょう。(勧誘)
(11) φ／あなた／鈴木さん、来週パーティに出る?(問いかけ)

(8)~(11)は聞き手の行動への敬語や視点の明示はなくても、聞き手は自分に対する〈命令・

依頼・勧誘・問いかけ)であることを理解できる。話し手と聞き手は会話の当事者として、常に潜在的な主題で、実際の会話の話題にのぼっていても、会話の主題であったかのような性格を持つ。逆に聞き手を選択して、他者と対比したりする必要がある場合は言語化(あなた/鈴木さん)される。→効果的。

3. 名前と身分呼称

母親

- (12) 母親：[自分の子に]そんなに泣いたらお母さんも困るの。 → 一人称
- (13) 子：[自分の母親に]お母さんのカレー、大好き。 → 二人称
- (14) 他人：[幼い子に]あぶないよ。ちゃんとお母さんと手をつなぎなさい。→三人称

先生

- (15) 先生：[生徒に]先生は今いそがしいんだよ。
- (16) 学生：[教師に]先生は明日大学へいらっしゃいますか？
- (17) 学生：[クラスメートに]先生はちゃんと指導してくれる？

名前

- (18) 本人：その仕事ならこの鈴木に任せてください。
- (19) [山田さんに]山田さんも明日一緒に行ってくれるよね。
- (20) [鈴木さんに]山田さんも明日一緒に行ってくれるよね。

4. 「あなた」の不特定性

あなたが積極的に用いられる場合

- (21) あなたのご職業は何ですか。 (アンケート用紙にある質問文)
- (22) あなたが選ぶカー・オブ・ザ・イヤー (自動車賞の名称)
- (23) あなたがいてくれたから (歌の題名)

課題2 「あなた」が特定の話し手が特定の聞き手に向けて発話したのではなく、不特定に受け手に向けて積極的に用いられるにはなぜか？

ヒント なぜふつうの会話では「あなた」が用いられにくいのかを考えよう。

第3課 「くる」と「いく」

1. 補助動詞「てくる」「ていく」

- (1) Q: 朝ごはんは? A: 食べてきました。 / 食べていきました。
A: 食べてきます。 / 食べていきます。
- (2) お土産を買ってきましたよ。 / お土産を買っていききましたよ。
- (3) ちょっと飲み物を買ってきます。 / ? ちょっと飲み物を買っていきます。
- (4) ボールが転がってきた。 / ボールが転がっていった。

課題1 (1)~(3)の「てくる」と「ていく」とを用いた文を比較し、その違いや特徴を考えてみよう。

2. 移動表現の自然さ

- (5) a. ? 朝ごはんを食べました。 / 朝ごはんを食べてきました。
b. 今朝は、朝ごはんを食べました。 / 今朝は、朝ごはんを食べてきました。
- (6) a. ? お土産を買いました。 / お土産を買ってきました。
b. Q: 食事をした後、何をしたの?
A: お土産を買いました。 / *お土産を買ってきました。
- (7) ? ちょっと飲み物を買います。 / ちょっと飲み物を買ってきます。

「ていく」「てくる」を用いてその前後の移動を表現し、話し手の現在の位置との関係を示したほうが、発話の現場との関係をふまえた事態把握となり、日本語として自然。

- (8) 今夜、極上のステーキを食べました。 / 今夜、極上のステーキを食べてきました。
昨日、極上のステーキを食べました。 / ? 昨日、極上のステーキを食べてきました。

課題2 (8)「昨日、極上のステーキを食べてきました」がなぜ自然さに欠ける表現であるのかを考えてみよう。

3. 物理的移動を表す動詞との組み合わせ

補助動詞「てくる」「ていく」は動詞に話し手から見た方向性を付加する。

- (9) ボールが転がってきた / いった。 母がりんごを送ってきた / *いった。

課題3 (9)で「転がる」は「てくる」「ていく」がともに使用できるが、「送る」は「て

いく」が使用できない。同じ物理的移動を表す語であるにもかかわらず、なぜこのような違いがあるのかを考えてみよう。また他の移動を表す動詞についてもそれが該当するかを検証してみよう。

- (10) ?? その人が私に近づいた。 / その人が私に近づいてきた。
(11) ?? 彼が私に書類を送った。 / 彼が私に書類を送ってきた。
(12) a. 業者が (X に) 請求書を送った。 / b. 業者が (X に) 請求書を送ってきた。
/ c. * 業者が (X に) 請求書を送っていった。
a. X= 話し手以外 b. X= 話し手 c. X= 話し手もそれ以外も不可

4. 対象への働きかけを表す動詞

- (13) 隣の人が話しかけてきた。 / 隣の人が話しかけた。(ふたつの意味に解釈可能)
(14) 相手が断ってきた。 / 相手が断った。

「話しかける」「断る」は物理的な主体移動・客体移動ではないが、対象への働きかけが行なわれているため、広い意味での移動と捉えることができる。その移動が話し手へ向けられたものであることを表すのに「てくる」を用いる。

- (15) ?? 鈴木さんが電話で私に知らせた。 / 鈴木さんが電話で私に知らせてきた。
(16) ?? そのうちの一人が私に話しかけた。 / そのうちの一人が私に話しかけてきた。

「きた」を付ければ、話し手に向かっているかは明示できるので、「私に」は必ずしも必要ではない。

- (17) 電話で知らせた。 「知らせた」主体は誰か？
(18) そのうちの一人が話しかけた。 「話しかけた」相手は誰か？

5. 広い意味で移動を含む動詞の分類

- a. 主体位置変化動詞 近づく、向かう、出る、入る、戻る など
b. 言語附随主体移動動詞 話しかける、語りかける、言いやる など
c. 身体部位運動動詞 かみつく、ける、なぐる など
d. 無対対象移動動詞 送る、かける、届ける など
e. 有対対象移動動詞 預ける、教える、貸す、売る など
f. 発話内容移動動詞 話す、挨拶する
g. 態度的働きかけ動詞 招待する、誘う

- (19) 一人の老人が話しかけた。 話し手以外
 (20) 一人の老人が話しかけてくれた。 話し手 恩恵(恩恵の授受については第4課で)
 (21) 一人の老人が話しかけてきた。 話し手 非恩恵(予期しない、意図とは別に)
 (22) 一人の老人に話しかけられた。 話し手 非恩恵(場合によっては被害)

移動を伴う行為を表現しようとする場合、日本語母語話者は、まずその行為が自分に向けられた行為かそうでないかを区別し、さらに自分に向けられた行為であればその恩恵性(「てくれる」)によって区別して表し分ける。

- (23) ?ある男が私に宝のありかを教えた。
 (24) ?ある男が私に宝のありかを教えてきた。 (予期しない、意図とは別に)

(21)(24)の「てくる」の用法の拡張

- (26) 電車のなかで、ふざけている若者に注意したら、突然、キレてきた。

6. 事態の出現と消失

- (27) 子どもの歯が生えた。／子どもの歯が生えてきた。／*子どもの歯が生えていった。
 (28) 再開発のせいで美しい町並みが消えた。 / 再開発のせいで美しい町並みが消えていった。 / *再開発のせいで美しい町並みが消えてきた。
 (29) 今この国が抱えている課題が見えてきた。

7. 変化の進展

- (30) a. バラのつぼみが大きくなってきた。 / 大きくなっていった。
 b. バラのつぼみが大きくなってきましたね。 / ?大きくなっていききましたね。
 (31) 失業率はさらに悪化していった。 / ?失業率はさらに悪化してきた。
 ?失業率がさらに悪化していった。 / 失業率がさらに悪化してきた。

課題4 (30)で a.「バラのつぼみが大きくなっていった」は可能なのに、b,「バラのつぼみが大きくなっていききましたね」は不自然な文になるはなぜか、また(31)に見えるように、「は」と「が」の違いが、「ていく」「てくる」の使用と関係しているのはなぜかを考えてみよう。

第4課 「あげる」「くれる」「もらう」

1. 「てくれる」と方向性

- (1) 鈴木さんが私の給食を食べました。 / 鈴木さんが私の給食を食べてくれました。
(2) 今年も桜が咲いたよ。 / 今年も桜が咲いてくれたよ。
(3) やっと子どもが元気になったよ。 / やっと子どもが元気になってくれたよ。
(4) 母が小包を送りました。 / 母が小包を送ってくれました。
(5) 隣の人が話しかけた。 / 隣の人が話しかけてくれた。

(1)~(3)のように、方向性の意味を持たない動詞は「てくれる」によって話し手にとっての恩恵を表現した文とそれを用いずに中立的（ただし、(1)は本当に中立的かどうか検討の余地あり）に表現した文との間で大きな意味内容の違いはない。

(4)(5)のように、第3課で検討した広い意味での移動を含む動詞は、話し手からの遠心的な方向性を表わすことが基本なので、話し手に向かう求心的な動きを表すには「てくる」「てくれる」「られる」を用いなければならない。「てくれる」がない「母が小包を送りました」の小包の送り先や「隣の人が話しかけた」その相手は話し手以外の人物である。すなわち、「てくれる」は恩恵を示すだけでなく、方向性表示の機能を兼務しているといえる。

2. 「てもらう」とヴォイス

- (6) 鈴木さんに考えの誤りを指摘してもらった。 「てもらう」型 (恩恵)
(7) 鈴木さんに考えの誤りを指摘された。 受身型 (迷惑)
(8) 鈴木さんに行ってもらいました。 「てもらう」型 (強制性不顕在)
(9) 鈴木 / ?鈴木さんに行かせました。 使役型 (強制性顕在)
(10) この仕事は君にやってもらおう。 聞き手への働きかけ

3. 丁寧さ 尊敬表現と授受表現

- (11) #あの荷物、届きましたか？ / あの荷物、届けられましたか（尊敬）？
届けてもらえましたか？ / お届けくださいましたか？ / お届けいただけましたか？
尊敬性のみで授受性がない表現よりも、授受性のみで尊敬性を欠く表現の方が丁寧。
(12) #あなたが添削した / 添削なさった / 添削してくださった / に添削してもらった / に添削していただいた 原稿、事務に提出しておきました。
「あげる」の不遜さ
(13) ?安くしてあげますよ。おまけもつけてあげますよ。

第5課 「てしまう」

1. 「てしまう」のふたつの意味

- (1) 今日中にレポートを書いてしまおう。 完了 意志動詞
(2) 昼食を10分で食べてしまった。 完了 意志動詞
(3) 携帯電話をなくしてしまった。 残念・後悔 無意志動詞
(4) 子どもが眠ってしまった。 完了 三人称
(話し手が) 眠ってしまった。 残念・後悔 一人称
(5) うっかり、違う場所に書いてしまった。 残念・後悔
(6) ダイエット中なのに、ついケーキを3つも食べてしまった。 残念・後悔

「てしまう」の解釈には、前にくる動詞の意志性、動作主体が話し手か他者か、「つい」「うっかり」を含意する文脈か否かなどが関与している。

2. 「ちゃう・じゃう」

「ちゃう・じゃう」は「てしまう」の話し言葉形か？

- (1) 食べてしまおう。 / 食べちゃおう。 意志動詞+「てしまう」→完了
(2) 食べてしまった。 / 食べちゃった。 一人称の「てしまった」→残念・後悔

課題1 (1)「食べちゃおう」は完了を意味するか？ (2)の「食べちゃった」は残念・後悔を意味するか？どのような文脈で使用されるかを考えてみよう。

「ちゃう・じゃう」を「てしまう」の話し言葉形として説明することは適切か？「てしまう」の話し言葉形は別にあることに注意。

3. 動詞の限界性と「てしまう」

主体変化動詞	主体動作・客体変化動詞	主体動作動詞
倒れる、死ぬ …	倒す、殺す …	歩く、撫でる …
変化動詞	動作動詞	
限界動詞		非限界動詞

限界／非限界動詞とは？ 動詞の意味に終了限界が内在するかによって分類。限界動詞のたとえば「木が倒れる」「木を倒す」は木が倒れた状態になってはじめて運動が達成される。非限界動詞の「歩く、見る」にはそのような基準がないので、動詞以外の成分によって限界を定める。

- (3) 3 km／3時間／1時から3時まで／東京から大阪まで歩く。
- (4) あっ、歩いた。 → 運動が始まることで運動が達成したとみなされる。
- (5) 木が倒れた。 / 倒れてしまった。 / 倒れちゃった。
- (6) 天気がよくて気持ちいいから、歩いた。 / ?歩いてしまった。 / 歩いちゃった。
- (7) 駅まで3 kmの道のりを歩いた。 / 歩いてしまった。 / 歩いちゃった。

動作・変化の終了限界を内在する限界動詞に「てしまう」を付けることにより、終了限界の達成がさらに前景化される。 → マイナスのニュアンスを帯びることも。
非限界動詞を用いた文で外的限界設定がない場合、「ちゃった」によって開始限界がさらに前景化される。

4. 「てしまう」と「ちゃう」

- (8) 最後まで / ??思い切って飲んでしまおう。
- (9) ?最後まで / 思い切って飲んじゃおう。
- (10) 最後まで / ??思い切って飲んでしまった。
- (11) ?最後まで / 思い切って飲んじやった。

課題2 食べることを聞き手にうながす場合、「食べてしまったら」は不自然で、「食べちゃたら」の方が自然なのはなぜか。理由を考えてみよう。

5. 誘引する「ちゃう」

- (11) あの人、笑っちゃう。 / 困っちゃう。
- (12) 泣ける映画 / 泣けちゃう映画
- (13) あの先生の授業、寝ちゃうよね。

第6課 「のだ」と「わけだ」

1. 「のだ」文

- (1) [Bが正装している] A: お出かけですか? B: 卒業式なんです。 / ??卒業式です。
- (2) [Bが約束に遅れた] A: どうしましたか?
B: 事故があつたんです。 / ??事故がありました。
事故があつたものですから。 / *事故があつたんですから。

課題1 「事故があつたんですから」が非文になるのはなぜか。このことを手がかりに「のだ」の意味を考えてみよう。

2. 「のだ」文の解釈

- (3) 前置き: あのう、郵便局へ行きたいんですが…。
- (4) 告白: 私、来月結婚するんです。 / 来月結婚します。
- (5) 注意・命令: 好き嫌いなく食べるんですよ。
- (6) 言い換え: 私は推薦入試で、一般入試じゃなかつたんです。
- (7) 決意表明: ぼく、将来サッカー選手になるんだ。 / サッカー選手になる。
- (8) 気づき: [初めて相手の英語を聞き] へえ、英語が話せるんだ。
- (9) そのカメラ、?どこで買いましたか。 / どこで買ったんですか。
- (10) ?誰と行きましたか / 誰と行ったんですか
- (11) A: そのカメラ、買ったの。 B: いや買ったんじゃないで、日にもらったんだ。

話し手によるノダの関連付け

話し手が、イマ・ココの〈見え〉と、聞き手にとって新情報であると話し手が信じる〈見え〉とを、条件関係または同義関係として主観的に把握したことを示す。

聞き手によるノダの手続き的意味解釈

ノダ文で発話のイマ・ココに新たに導入された〈見え〉と、前提と帰結あるいは同義関係が成り立つような〈見え〉をイマ・ココに探索し、それらを関連付けて解釈せよ。

課題2 ノダの関連付けと手続き的意味解釈をもとに、(3)~(11)を再分析してみよう。

- (12) A : 飲みに行かない? いい店知ってるんだ。
 B : ごめん、仕事があるから…。 / 仕事があるんだ。 / *仕事があるんだから。
 A : たまにはいいじゃないか。いつも忙しいんだから。 / *忙しいから。 /
 *忙しいんだ。
 B : だめ、今日中の仕事なんだから。 / ?仕事だから。 / ?仕事なんだ。

3. 「わけだ」の関連付け

- (13) いよいよ鈴木さんも社会人になるわけだ。 / なるんだ。
 (14) 仕事を始めたのは昼過ぎだったのに、もう夕方だ。五時間も仕事に熱中していたわけだ。 / 熱中していたんだ。
 (15) A : 小学校から高校までアメリカにいたんだ。
 B : それじゃあ、英語がペラペラなわけだ。 / ペラペラなんだ。
 (16) A : 今日、山田は口数少ないよね。 B : 失恋したらしいよ。
 B : 元気がないわけだ。 / *元気がないんだ。
 (17) この部屋暑いなあ。あ、エアコンが入っていない。暑いわけだ。 / *暑いんだ。

のだ: 主観的な関連付け。イマ・ココの一つの〈見え〉に話し手にしか見えないもう一つの〈見え〉を前提と帰結あるいは同義関係が成り立つような関係として関連付けて、共同注意の体勢にある聞き手に差し出す機能。

わけだ: 論理的、客観的な関連付け。イマ・ココの二つの〈見え〉を推論において関連付け、共同注意体勢にある聞き手に提示する機能。

- (18) 道理で / *だから元気がないわけだ。 道理で / *だから暑いわけだ。
 (19) だから / それで / *道理で元気がないんだ。
 (20) A : 疲れた顔をしてるね。
 B : 実は夕べ眠れなかったんだ。 / *わけだ。

主要参考文献 近藤安月子・姫野伴子『日本語文法の論点 43』(研究社、2012)